

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ほっぷ国府台		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に応じた支援と個別支援計画の適切な作成・実施	アセスメントを丁寧に行い、児童発達支援管理責任者のみならず関わる職員の意見を反映し計画を作成している。日々様子を共有し、計画に沿った支援を実施している。	モニタリング結果や保護者からの意見をより体系的に整理し、計画見直しの根拠を明確にしながら、支援の質のさらなる向上を図っていく。
2	保護者との信頼関係と情報共有の充実	送迎時の対面での情報共有や相談対応を継続して行い、家庭での様子も職員間で共有している。計画説明や同意取得も丁寧に実施している。	面談機会や相談対応の記録を整理し、保護者支援の内容を可視化するとともに、必要に応じて家族支援の機会拡充を検討していく。
3	安全管理体制および非常時対応の整備	各種マニュアルの整備、定期的な避難訓練の実施、ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を行っている。服薬・アレルギー情報の事前確認も徹底している。	訓練内容の振り返りを記録として残し、保護者への周知方法も工夫することで、安全対策への理解と安心感の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースおよび個別対応スペースの不足	建物構造上の制約があり、クールダウンや体調不良時の個別空間が十分に確保できていない。利用人数により活動に制限が生じる場合がある。	可動式パーテーションや簡易的な仕切りの活用方法を再検討し、時間帯による活動分散や外活動の計画的導入により、空間の有効活用を図っていく。
2	家族支援(保護者交流)の機会不足	個別相談には対応しているが、保護者同士の交流機会や体系的な家族支援プログラムは十分とはいえない状況である。	小規模な情報交換会やテーマ別ミニ勉強会等、負担の少ない形から段階的に実施を検討し、家族支援の選択肢を広げていく。

3	情報発信および日々の振り返り体制のばらつき	通信やSNS発信について評価が分かれている。 また、支援後の即時振り返りや日報記録が業務状況により後回しになることがある。	発信頻度や内容の基準を明確にするとともに、記録時間の確保やミーティング方法の見直しを行い、情報共有と業務改善の安定化を図っていく。
---	-----------------------	------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------